



—幼い頃からピアノと戯れ、曲を作り、クラシックを徹底的に学び、音大在学中に出会ったジャズに自分が求める音を見いだしたという彼女の指から発せられる音楽は、時にクラシカルな叙情性を湛え、時に情熱的なラテン・フレーバーを迸らせ、時に軽やかなスウィング・ビートで聴く者の心を浮き立たせ、という具合に自由奔放。その、枠にとらわれない表現のありようは、まさにワン・アンド・オンリーの個性と言っていいたいだろう。

(ぶらあぼ誌 2017年12月号より)

Chihiro Hosokawa, Piano

細川 千尋 (ピアニスト)

富山県出身。幼少よりピアノが大好きで、時間があればピアノに向かっていた。

数々の賞を受賞し、2013年には、スイスのモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロ・ピアノ・コンペティションにて、日本人女性初のファイナリストとなる。

同年11月、富山でソロ・コンサートを行い、モントルー・ジャズ・フェスティバル・イン・かわさきでは、チュー・チョ・ヴァルデス公演のオープニング・アクトを務め、連弾で共演。2014年4月にはアルテリッカしんゆり芸術祭にてソロ・コンサート、8月にはミュゼザ川崎シンフォニーホールでガーシュウインのラプソディ・イン・ブルーをオーケストラと共演。9月、モントルー(スイス)で行われたセプテンバー・ミュージックにソロで出演。川崎市アゼリア輝賞受賞。これまでに、イタリア、スイス、ベルギーでソロ・リサイタルを開催。

幅広いジャンルの演奏活動を国内外で行っている。クロスオーバーなオリジナル曲とトークも交えたソロ・ピアノコンサートは、高い評価を得ている。2017年2月14日には大阪・ザ・シンフォニーホールにて大阪交響楽団をバックに熱演を披露、大好評に終わり、1年後に再演。

録音では、2014年11月に全曲ソロ・ピアノ・オリジナル作品の『Thanks!』(デビューCD)を2016年2月には『I'm home!』(セカンド・アルバム)を発表。

2017年11月にリリースの最新盤『CHIHIRO』では鳥越啓介(ベース)と石川智(ドラム・パーカッション)とトリオを結成。自身初のトリオでの録音をリリースする。同トリオにて、12月に浜離宮朝日ホールで公演、本人によるクラシック曲のジャズアレンジが大好評を博す。

昭和音楽大学大学院修了。現在、昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに在籍。江口文子氏に師事。

■交通アクセス
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック



名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716
E-mail info@munetsuguhall.com
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター
営業時間:10:00~16:00
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

宗次フレンズ 会員募集中!!

宗次ホールは
会員登録していただいた方に毎月無料で
新作チラシをご自宅にお届けします。

会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。